

葉明報

第42号

◎発行
宮城県石巻工業高等学校
図書委員会
◎印刷
渡波印刷株式会社

「私にとっての読書」

教頭 佐々木 隆 義

私のこれまでの生活の中心は学生時代に限らず部活動中心の生活を送っていました。そのため特に中学・高校までは時間的にも余裕がなく、ほとんど本を読むという機会は無かったのが現実です。小学校入学時に東京で製本会社に勤務していた叔父から入学祝いにもらった、分厚い何冊もある図鑑や伝記をばらばらと眺めるのは楽しかったのは覚えています。

それが、「人生の楽園」とも例えられる大学生の時には、高校までと変わらず部活動は行っていました。時間的にも余裕ができた、その当時話題になっていた『ノルウェーの森』を手にしたのが私にとっての本格的な読書の始まりでした。その後はジャンルを問わず、題名だけを見て読みたいと思う本は買い求め、大学4年時には、更に時間的な余裕があり暇さえあれば本を読んでいた記憶があります。

今の私と私の人生の節目となる時期に強く記憶に残る本との出会いがあったように思われます。就職活動の時期には、それまでの学生の甘い考えを正してくれるような内容の本、教員となって経験の少ない私にヒントを与えてくれるような本。自分の目標がなかなか達成できず迷っているときに勇気と希望を与えてくれた本。そして、現在の私の読書は、心を整えたり、穏やかになるような本を好んで選んでいます。

私の本を選ぶ基準は、年齢とともに変化はしていますが、特に社会人になってからは前向きになれる、意欲がわくようなもの、読んでいて楽しい本を自然と手にしている傾向があります。

今更ではありませんが、高校生の頃から読書をする機会があったなら、大学生活にも大きな影響があったと思います。皆さんも是非、手にした本は必ず読み切ること、こだわらず、いろいろな本を読んでみることをお勧めします。寝ることも忘れて数百ページの本をいくつかの間にか読み終わっていたという時が必ず来ると思っています。



石工生におすすめの一冊

事務室
事務室長 高橋 弘道

「やめてみた」

わたなべぼん 著
幻冬舎



この本は、全3巻のマンガ本です。テレビ・コンビニ・スマートフォン・化粧ポーチ・イベント参加など作者が日常生活で当たり前のように使っていたものや「こうあるべきだ」と囚われて行っていたことを「やめてみた」、そうしたら自分が変わり生活が楽しくなったという内容のものです。

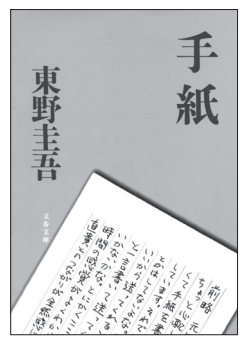
3巻で三十を超える「やめてみた」があります。本を読みながら私自身に当てはまるものや、実際にやめられそうと思ったものは、あまりありませんでしたが、これまであたりまえに使っていたもの・習慣をあらためて考えるきっかけになりました。

かっこよく言えばマンガで読む自己啓発本と言えると思います。マンガなので構えることなく読めます。また、本校の図書館にもあるのでお金もかけずに読めます。手に取ってみてください。

電気情報科
実習助手 小野 正晴

「手紙」

東野 圭 吾 著
文春文庫



『マスカレード・ナイト』や『容疑者Xの献身』などで知られる、東野圭吾さんの作品。小説家でありながら大阪府立大学工学部電気工学科卒業の後、(株)デンソーに勤務という経歴をもち、工科系の人間にも読みやすい。私は読書が大嫌いだけど東野圭吾シリーズは興味を持って読める。

中でも勧めたいのが『手紙』という本である。

主人公の武島剛志は、高校3年生の弟である直貴が安心して大学へ行けるような金が欲しくて、資産家の老婆の家へ家宅侵入・窃盗を行うが、老婆に見つかり衝動的に殺人を犯してしまふ。直喜は、事あるごとに「強盗殺人犯の弟」であることが災いし、苦悩する。

そんな中で、刑務所に入っている兄ととれる唯一のコミュニケーションが、「手紙」だった。

読み終わった後に、自分たちの生き方を考えさせられる一冊である。

電気情報科
実習助手 岩 淵 直 央

「入社1年目の教科書」

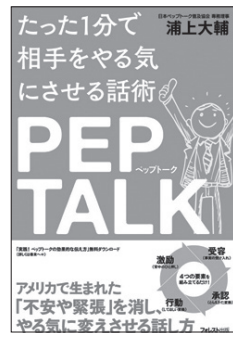
岩 瀬 大 輔 著
ダイヤモンド社



「社会に出るために必要なことだよ」という言葉をみなさんによく聞くことでしょうか。私もみなさんと同じく高校時代を工業高校で過ごし、この言葉をよく言われていました。なぜなら、工業高校は3年間で一生モノの知識や技術を学べる場所であり、企業が求める人材になれる場所だからです。しかし、即戦力としてすぐに活躍できる人は少ないと思います。まずは、「社会人として働く」ということに慣れる必要があります。そこで、社会に対して自信が持てないとき、仕事をするために何が必要なかを知らないと、思ったときに、この本をお勧めします。内容は、仕事に関する様々なテーマに対して著者の経験や考え方を基に、仕事に対する取り組み方や心構えを記しています。一つ一つの内容がコンパクトで読みやすいのも特徴です。全ての内容が正しいことかどうかは、それぞれの企業の規則や業務内容によって違うかもしれませんが、仕事に対して前向きに頑張ってみようと思える一冊だと思います。自分自身の未来をより良くするために、一読してはいかがでしょうか。

『たった1分で相手をやる気にさせる話術ペップトーク』

浦上大輔 著
フォレスト出版



この本は、以前参加した部活動のメンタルトレーニング講習会の時に、講師の方から紹介された1冊です。PEP TALK(ペップトーク)とは、主にスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ましたために使っている短い激励のスピーチです。私は講習会に参加するまでペップトークという言葉を知りませんでした。が、講習をきっかけにこの本を読み、学ぶべきことが数多くありました。本のタイトルにあるように「相手をやる気にさせる」ための考え方やリーダー向けの本になっていますが、スポーツの場面に限らず、自身が目標に向かい物事に取り組むときや、人とのコミュニケーションの場面でも生かせる思考を学べる内容だと思えます。ペップトークは「受容・承認・行動・激励」の4つの要素を組み立てられています。事実を受け入れ、プラスに変換、行動を確認、そして激励で送り出す。講習時に見た大学アメフト監督のペップトーク動画、やる気がますます！この本は、これまでの部活動への向き合い方を見直す機会になりました。

化学技術科

教諭 穴戸善彦

『ラプラスの魔女』

東野圭吾 著
KADOKAWA



サイコロを振ったとき何の目が出るか当てることはできるだろうか。例えば1の目を上にしてそのまま1cm落とすだけなら誰もが1の目が出るのがわかるだろう。普通にサイコロ1つを振ったときに目が当たる確率は適当に答えても1/6だろう。「ラプラスの魔女」である彼女は100%目を当てることができる。サイコロが2つでも3つでもそれが可能であった。もちろんトリックなどは存在しない。そして彼女が持つ能力はそれだけにはとどまらず...。一方その頃「ラプラスの悪魔」と呼ばれる能力をもつ人物は、ある有名温泉地で硫化水素を用いて、人知を超えた恐ろしい計画を企てていた...。この2人が繰り広げる壮絶な「予測」合戦は、自然科学に興味を持つ人ならその世界観にはまること間違いなし！そして2人のラプラスの間にある因縁とは？

化学技術科

代替実習助手 塩谷歩美

『はたらく細胞 ウイルスの教科書』

メインキャラクターイラスト・清水茜
編・出版：講談社



私が皆さんと同じ高校生の頃、ウイルスは「目に見えない位小さく、病気の原因になる要素の一つ」程度の認識で、あまり深く考えた事はありませんでした。ウイルスという言葉が様々なところで聞くようになって今日、皆さんはウイルスについてどのように考えていますか？今回私が紹介したいのは『はたらく細胞 ウイルスの教科書』です。この本は漫画『はたらく細胞』の世界観を参考にして、ウイルスを解説してくれる一冊となっています。ウイルスの種類、感染予防について図やCGによるカラー画像を通して知ることができ、生物が苦手でも読みやすいと思います。暗いニュースが多く流れておりますが、本来ウイルスはそれほど怖くありません。目に見えないからといって勝手に恐れるのではなく、しっかりと知識を身につけ、うまく付き合っていく方法を自分なりに探してほしいと思います。今回紹介する本が、そのきっかけの一つになれば嬉しいです。

数学科

教諭 菅野啓太

『誰も教えてくれないお金の話』

うだひろえ 著
泉正人 監修
サンクチュアリ出版



「お金の使い方」や「お金に関する知識」は、生きていく上で基本的かつ重要であるのに、意外に教えてもらう機会は少ないのではないのでしょうか。「ちゃんと仕事をして節約もしているはずなのに、お金が足りない...」という筆者の嘆きからこの本は始まります。この本は、生きていく上での「お金の教養」について、実体験を交えつつ、とても分かりやすく伝えています。主婦兼イラストレーターうだひろえさんが、脱サラをしてカフェを始めた夫とともに生活していく中で「お金の教養」を深めていくプロセスが、漫画で分かりやすく描かれています。分かってはいたつもりで実は全然知らなかった「お金の向き合い方」を学ぶことができます。「なかなか貯金ができない」「お店の収益がなかなか伸びない」といった悩みはよく聞くことですが、生活や経営の実態を把握し、お金の流れを管理することで、無理せずにお金を使っていくことができます。若干大人向けの内容ではありますが、遠くない将来社会に出ていく皆さんにとって、新しい学びが得られる本だと思います。

社会科

教諭 杉田諒

『東大名譽教授がおしえる やばい世界史』

木村凌二 監修
滝乃みわこ 著
和田ラチヲ・亀 作画
ダイヤモンド社



日本の歴史だつてよく知らないのに、まして世界史なんて、全然分らない。そんな風に思う人がいても、この本は読むことができる一冊です。何か凄いことを成し遂げた人は、歴史に名前が残ります。しかし、凄い「だけ」の人なんてこの世に一人もいません。生まれた場所や時代によって、人の評価はガラリと変わります。ある国から見れば「凄い」人も、別の国から見れば途端に「やばい」人になることもあります。例えば、モーツァルトは5歳で作曲を始めた天才作曲家という「凄い」一面がありますが、うんことおしりが好きすぎて「おしりをなめる」という曲を作曲した「やばい」一面もあります。そんな一面があつても、歴史に名を残した人に共通しているのは、それぞれみんな一生懸命生きていくということ。時に失敗し、そこから学び、たまに成功する。カッコいい一面もあれば、ダサイ一面もある。だからこそ人は面白いのです。本校の図書館でも貸し出ししているので、ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。

保健体育科
教諭

五十嵐 雅道

『チーズはどこへ消えた?』
スペンサー・ジョンソン 著
扶桑社



読書したいけど、時間がない人、朝読書の時間に何を読むか困っている人は特にこの本を読んでみてください。

本は薄く、文字も少なくて読みやすい。セクションも細かく、短時間でもキリがよく1セクションが読み切れる。そして、1時間程度で全部を読み終わる本です。

物語としては、2匹のネズミと2人の小人が食料を求めて迷路の中を走り回るとい話です。性格やタイプは4者4様で私たちの単純さや面倒くさいところがうまく表現されています。各場面の問題が起き、それぞれが行動をして解決していきます。どれかのキャラクターに自分も当てはまるため、自分のタイプや性格を知ることはもちろん、これからの行動の仕方やしき方についても深く考えさせられる内容のつまった本です。

「知識と経験は誰にも奪われることのない財産」という言葉があります。しかし、1人の人生の中でできる経験は限られています。私自身、読書時間を多く作れている訳ではありませんが、本というのは、誰かが一生をかけて経験や知識、考え方を数時間でインプットできるものだと思います。できるだけ多くの本に触れて教養を深めていってください。

「全校読書会」の記録 2・3年生

11/12
L H R

「トイレ掃除」についての新聞記事・コラムを読み意見を出し合いました。



①花巻東高校野球部監督の考えや2人のメジャーリーガーについて、どのように考えますか？

- ☆掃除は心もきれいにすると聞いたことがあったので、この3人も同じようにきれいな気持ちで、心の整理ができた状態で試合に臨んでいるんじゃないかと思う。「汚い」「時間がない」と掃除をしないままでいるのは逆にもったいない。何よりも自分達の為に掃除をしているのではないかと思った。
- ☆ピッチャーは花形が一番注目を浴びるので、監督さんは、スタープレイヤーに謙虚さをもたせる目的で掃除をさせていたのではないのでしょうか。だから、技術だけでなく精神力も鍛えられ、海外でも通用する良い選手が生まれてくるんだと思いました。
- ☆トイレ掃除など基本となることをしっかりできない選手は、なかなか成長できないと思う。日々の練習以外の取り組み方が結果として出てくるのではないかと思います。
- ☆トイレ掃除をすることで、礼儀作法や謙虚さを育てているのではないかと思います。何かしら活躍した人は、最初から凄かったのではなく、他人に教えられたことを素直に聞き、それを続けることにより自分の力に変えて、どんな場面でも普段通りの実力を発揮できるのだと思います。
- ☆「トイレ掃除はすべての基礎になる」という意味に聞こえました。私も同様の意見です。そして、「トイレを見ればその場所の価値がわかる」このことは、様々な場面で言えることです。「良い場所のトイレがきれい」というよりは、「トイレがきれいな所は良い場所である」と考えることができました。

②ローソン社長やイエローハット創業者の方々の考えについて、どのように考えますか。

- ☆まず、最初にトイレ掃除やゴミ拾いと聞くと雑務と感じる。だけど、それを行うと、少しの汚れやゴミが気になり生活の視野が広がるのだなと思った。掃除をすると、便器だけでなく、自分にも磨きがかかり素直になれると思う。何においても、プライドが高くてもよいことはないと思う。自分は素直に後輩であってもアドバイスをもらいにいけるくらいのハングリー精神でいきたいと思う。
- ☆会社が大きくなり、偉い立場になっても常に向上精神を持っていてすごいなと思った。トイレ掃除が売り上げに関係しているかはわからないけれど、もし自分が働く会社の社長がローソンやイエローハットのような社長だったら、頑張ってると思うなと思った。もし、何かうまくいかないことがあった時は、掃除から始めてみようと思った。
- ☆トイレ掃除をスタートしたことで、どちらの企業とも売り上げが向上して驚いた。トイレ掃除が直接関係しているわけではなく、何か変えたいと思っている人は大きなことを一気にするのではなく、日常の小さなことを極めることが大切だと感じた。また、掃除をすることで謙虚になれるということにも共感した。
- ☆人があまりやりたがらないトイレ掃除をすることで「気づく人になれる」ということに共感しました。常に取り組んでいる人は、気づく力がつきます。それは、トイレ掃除だけでなく、他の物事にも当てはまると思います。大事なものは、物事に興味を持ち、気づけることだと思います。
- ☆クオリティー・サービス・清潔ということは、どこに行っても大切であり、その3つがあればいいイメージがあります。トイレ掃除は、ただするのではなく、きれいにしたいという気持ちが重要であるのだと思いました。
- ☆人が変わるためにはきっかけがあると思うし、変わらなきゃいけない人がほとんどだと思うから、変わるためのきっかけとしてトイレ掃除するのはすごくいいことだと思う。人として大きく成長できると思うし、大きく変われると思う。
- ☆ゴミ拾いなどの小さなことから少しずつやっていだけで、自分の性格をも変えることができるのだなと思いました。ゴミ拾いをしているだけで、自分の人生がよい方向に変わるといってもおかしくないのだと思うと、ゴミ拾いをすることや掃除をすることは、私たちが普段受けている授業と同じくらい大切なことなのではないかなと思いました。



「全校読書会」の記録1年生 L1/H1R

クラスごとに同じ集団読書用テキストを読み、意見を出し合いました。

M1 「沈黙」

- ①この本を読んで一番心に残ったこと
 - ・情報を鵜呑みにしてしまう人がクラスに大勢いるのがどうかと思いました。声を上げることは大切だと感じました。
- ②どうして村上春樹さんは「沈黙」というタイトルをつけたと思いますか。また、あなたが大沢さんの立場だったらどうしますか。
 - ・根拠のない話を黙って鵜呑みにしているクラスの様子が「沈黙」という言葉に合っていたから。大沢さんの立場だったら、周りの信頼できる人に相談する。

E1 「チヨ子」

- ①この本を読んで一番心に残ったこと
 - ・自分が幼い頃に大事にしていたものが思い出や記憶という形でその人を守っているということで、自分だったら何が見えるのか想像しながら読みました。
- ②「チヨ子」が伝えたかったことは何でしょうか。
 - ・誰にでも大切にしていたものはあるが、時間が経つにつれ忘れてしまう。チヨ子は着ぐるみを通していつまでもあの頃のことを忘れないように伝えてくれたのだと思います。

C1 「スローカーブを、もう一球」

- ①この本を読んで一番心に残ったこと
 - ・野球経験のない監督なのに、甲子園に出場できたのはすごいと思いました。また、スローカーブを投げてみたくなりました。
- ②もし、あなたが高崎高校野球部の監督になったら、どうしたいですか。
 - ・素人だとしても選手の活躍を褒めてあげ、一緒に喜んであげたいです。そして、選手とともに成長できる監督になりたいです。

I C1 「黄色い目の魚」

- ①この本を読んで一番心に残ったこと
 - ・いじめはだんだんエスカレートしていき、誰かが動き出すまで止まらないものだと思います。自分もいじめられてしまうかもしれないという恐怖に打ち勝つ勇気こそが、いじめを消すための第一歩だと思います。
- ②あなたは友達がいじめられていたら、どう対処しますか。
 - ・心が楽になるまで話を聞いてあげる。
 - ・先生に相談し、いじめを止める。

A1 「さがしもの」

- ①この本を読んで一番心に残ったこと
 - ・おばあちゃんが言った「できごとより考えの方が怖いんだ。」という言葉がとても心に残りました。
 - ・おばあちゃんが死んだ後も何年も1冊の本を探し続けていたのがすごいと思いました。
- ②もし、あなたが霊になったら、家族にどんなお願いをしますか。
 - ・どんなに小さなことでもいいから自分のことを忘れないでほしい。

編集 図書委員会の活動を振り返って

後記

私は、3年間図書委員として活動し、3年生では委員長を務めました。3年間の活動の中でも一番印象に残っていることは、2年生の時に参加した図書委員の集いです。

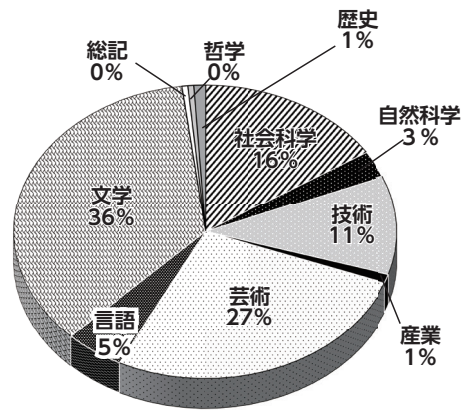
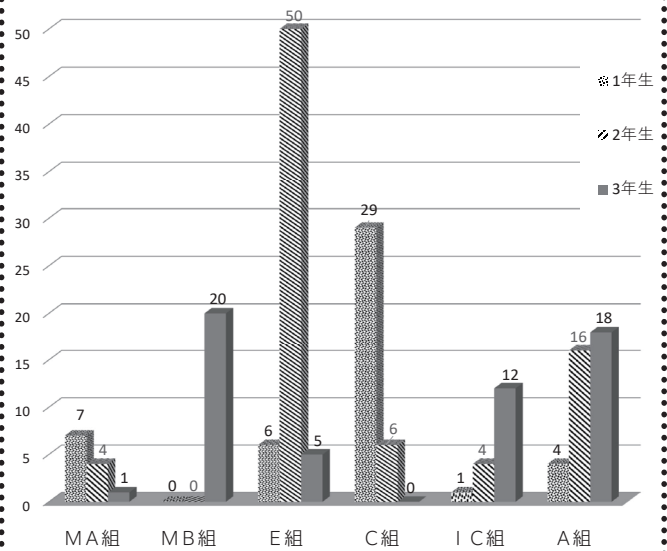
図書委員の集いでは、石巻の各高校から代表生徒が集まり、1冊の本を読み、その感想や意見を交換し合いました。同じ本を読んでいても、とらえ方が様々で驚いたことを今でも覚えています。また、本の話の他、それぞれの図書委員会の活動報告などもあり、とても勉強になりました。この図書委員の集いでは、自分自身のコミュニケーション能力の向上や臨機応変に対応する力もついたと思います。

図書委員会の活動を通して学んだことを今後の活動でも活かしていきたいと思ひますし、図書委員会の活動も引き継いでほしいです。今年の委員会では、コロナウイルスの影響であまり活動はできませんでしたが、委員長としての責任は果たせたと思っています。石工生みなさん、本はとても魅力があります。これからも少しずつ本を読む習慣をつけてほしいと願っています。

(E3 佐藤綾音)

石工生の読書潮流 2020

クラス別貸出統 (2020.4.1 ~ 2021.1.31)



2020年度 多読者

| ⑤ | ③ | ③ | ② | ① | |
|------|-------|------|-------|------|----|
| 6 | 10 | 10 | 11 | 26 | 冊 |
| 木村京倉 | 五野井透真 | 尾形朱音 | 山内くるみ | 小川優安 | 氏名 |
| E2 | M3B | IC3 | A2 | C1 | |

